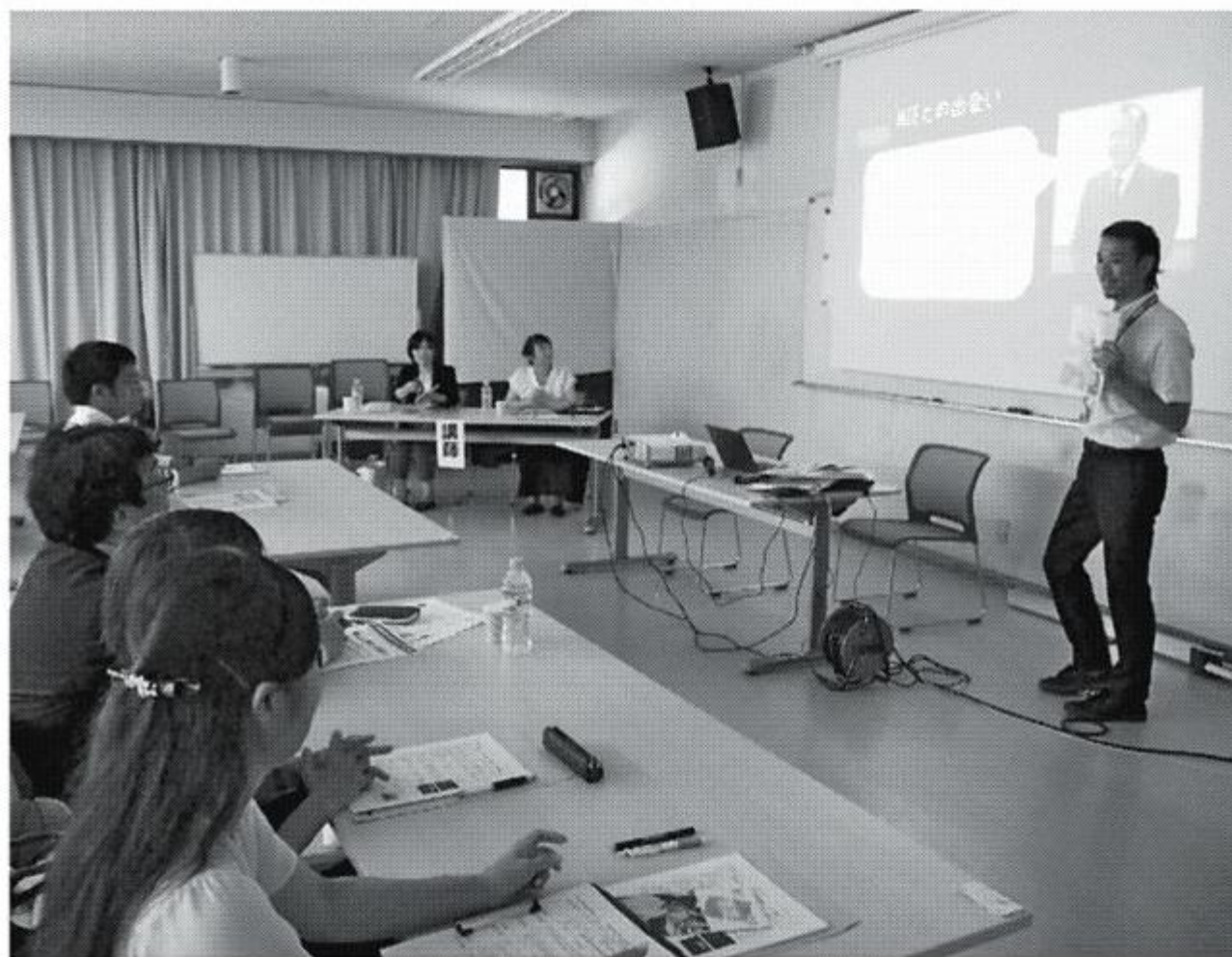


和歌山大付属小でNIEセミナー 小学教諭ら取り組み学ぶ

県内の小学校教諭らがNIEの実践例などを学んだセミナー―和歌山市



新聞で



学ぼう

県内の小学校教諭らが教育現場で新聞を活用するNIEの取り組みについて学ぶ「県小学校NIEセミナー」が、和歌山市吹上の和歌山大学教育学部付属小学校で開かれた。約50人が参加し、NIE実践校の福井市安居小学校の報告などに

聴き入った。

安居小の加畑里奈教諭はNIEの取り組みを紹介。同校は低学年で、すでに習った漢字を新聞から探し、さらに同じ部分を持つ別の漢字を見つけて学習意欲を高める「国語」や、新聞から大切にしたい言葉を探し、コラーージュにして学級の目標とする「道徳」を実践。高学年では、こよみ欄から月の動きを知る「理科」や、見出しなどのゴシック体と記事の明朝体を書き写させて活字と手書き文

字を使い分ける必要性を学ぶ「書写」などを行った。

その結果、学校で新聞を読む児童が増え、NIEの授業が「好き」と答える児童も多くなったといい、加畑教諭は「今後は年間を通して、つながりのあるNIEを意識して取り組みたい」と意欲をみせた。県内の教諭からは、自らの実践例をもとに効果的なNIEの取り組みなどについて質問する姿が見られた。